

## 第67回中国高等学校弓道選手権大会要項

主催 中国高等学校体育連盟  
 共催 山口県教育委員会、山口県高等学校体育連盟、山口県弓道連盟、周南市弓道連盟  
 後援 (公財)全日本弓道連盟、中国地域弓道連合会、(公財)山口県スポーツ協会  
 周南市、周南市教育委員会、(公財)周南市スポーツ協会  
 主管 山口県高等学校体育連盟弓道専門部

- 1 期日および会場** ゼオンアリーナ周南弓道場 (元麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンター)  
 〒745-0851 周南市大字徳山427 TEL 0834-28-8311
- (1) 大会受付 令和6年6月14日(金) 8:30  
 (2) 公式練習 令和6年6月14日(金) 9:00～15:55  
 会場：ゼオンアリーナ周南弓道場 (各県75分)
- (3) 開会式 開会式は行わず、6月15日(土) 8:45～開始式を行う  
 会場：ゼオンアリーナ周南弓道場
- (4) 競技 令和6年6月15日(土)～16日(日)  
 会場：ゼオンアリーナ周南弓道場
- (5) 閉会式 令和6年6月16日(日) 14:00～  
 会場：ゼオンアリーナ周南弓道場
- (6) 諸会議 専門委員長会議 令和6年6月14日(金) 12:30～  
 会場：多目的ホール本部席 (1階)  
 監督会議 中止 書面会議に変更

**2 競技日程** 予定時刻なので若干前後することもあります。

6月14日(金)	9:00 公式練習
6月15日(土)	8:45 開始式
	9:00 個人競技 予選一回戦〔女子・男子〕
	10:05 個人競技 予選二回戦〔女子・男子〕
	11:10 個人競技 決勝〔女子・男子〕
	12:00 個人競技 表彰式
	12:30 団体競技 女子予選〔女子(同中競技)〕
	団体競技 男子予選〔男子(同中競技)〕
16:30 決勝トーナメント組み合わせ抽選会	
6月16日(日)	9:00 団体競技 決勝トーナメント一回戦(女子・男子)
	11:20 団体競技 女子決勝トーナメント 準々決勝(女子・男子) 5～8位決定戦(女子・男子)
	12:30 団体競技 決勝トーナメント準決勝(女子・男子)
	13:10 団体競技 3位・4位決定戦(女子・男子)
	13:30 団体競技 決勝トーナメント決勝(女子・男子)
	14:00 閉会式

### 3 競技種目

個人競技 女子の部・男子の部 (各県12名以内)  
 団体競技 女子の部・男子の部 (1校…選手5名、補員2名以内)

### 4 競技方法

- (1) 36cm震的、射距離28m、的中制。  
 行射は、個人競技及び団体競技予選は立射、団体競技決勝は坐射とする。  
 射手間隔は、個人競技は150cm、団体競技は180cmとする。
- (2) 個人競技(3人立4射場)  
 四矢2立(計8射)とし、的中上位より8位まで決定する。同中の場合優勝者決定は射詰

とし、他は遠近法により決定する。ただし、射詰において5射目からは24cmの星的を使用する。

優勝決定以外の順位決定は、2射場同時に行う場合もある。

(3) 団体競技（5人立2射場）

- ① 予選及び決勝トーナメントは各自4射、計20射とする。
- ② 予選は的中総数上位16チームを通過とする。16位のチームが複数ある場合は、各自1射ずつの競射とする。
- ③ 決勝は抽選により組み合わせを決定し、トーナメント戦方式により行う。同中の時は各自1射ずつの競射とする。（競射1本目は替矢を使用）
- ④ 3位、4位決定戦は各自2射、計10射とする。  
5位から8位は決勝トーナメント準々決勝的中数により決定する。同中の場合は各自1射ずつの競射とする。
- ⑤ 決勝トーナメントの組合せ抽選方法は、次のとおりとする。  
(ア) 予選の中4位以内の学校は、立順1番・8番・9番・16番のいずれかに、抽選によりシードする。なお、同中により5チーム以上が該当する場合には、予備抽選を行い、上位4チームを決定した後に、シード抽選を行う。予備抽選ではずれたチームは、予備抽選以外のチームとともに、シード後の抽選に加わる。抽選順番は的中順とし、同中の場合は立ち順の順番とする。  
(イ) (ア)以外の協議を要するケースが生じた場合は、各県専門委員長が協議して決定する。

(4) 競技時間の制限

- ① 競技時間は本座における進行係の合図によって始まり、最後の射手の離れで終わる。
- ② 1団体20射の行射制限時間を予選(立射)は7分以内とし、決勝トーナメント戦(坐射)は8分以内とする。30秒前に予鈴、終了時点で本鈴の合図をする。
- ③ 弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
- ④ 個人競技及び1射ずつの競射については、進行係又は射場審判の指示に従うものとする。

(5) 選手の交代

- ① 申込書に記載した立順及び補員の変更は認めない。
- ② 団体競技の選手交代は、予選前に1回、決勝トーナメント中に2回（決定戦前は認めるが、同中競射前は認めない）、計3回まで認める。その際、所定の用紙に記入し監督が第3控に入るまでに届け出ること。
- ③ 交代は1回に2名まで認める。

(6) 監督の変更

監督の変更は、来場受付時に申し出ること。ただし、生徒の監督は認めない。

(7) 審判その他は、(別)全国高等学校体育連盟弓道競技規則による。

## 5 参加資格

- (1) 出場選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、本競技実施要項により、参加資格を得た者に限る。
- (3) 年齢は平成17(2005)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は、参加を認めない。ただし、一家転住などやむを得ない場合は、所属する高等学校体育連盟会長の認可があれば、この限りではない。
- (6) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (7) 参加資格の特例  
学校教育法第1条に規定する以外の学校の参加については、中国高等学校選手権大会開催基準要項のとおりとする。

## 6 出場数

- (1) 団体競技
  - ① 男女とも各県6校以内とし、1校1チームとする。
  - ② 開催県は男女とも7校出場できる。
  - ③ 前年度優勝校は、上記①、②以外として出場することができる。
- (2) 個人競技
  - (1) 男女とも各県12名以内とする。

## 7 監督・引率者

- (1) 引率責任者は団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出ること。
- (2) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。ただし、各県に規定があり、この基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

## 8 表彰

- (1) 団体競技 8位まで 団体競技優勝校には優勝旗(持ち回り)を授与する。
- (2) 個人競技 8位まで 個人競技優勝者には優勝楯(持ち回り)を授与する。

## 9 参加申込

参加申込書は各県専門委員長が取りまとめて、令和6年5月10日(金)必着で申し込むこと。  
申込み先は、各県専門委員長に別途連絡する。

## 10 大会負担金

- (1) 団体競技 1チーム 15,000円
- (2) 個人競技 1人 2,000円
- (3) 大会負担金の振込先 各県専門委員長に別途連絡する。

## 11 宿泊・弁当申込方法

4月下旬に宿泊・弁当の要項をお渡し致します。なお取扱い業者は下記の通りになります。

名鉄観光サービス株式会社山口支店 担当：河原  
TEL (083) 923-2600  
FAX (083) 923-2552  
E-mail: yamaguchi@mwt.co.jp

### 【連絡事項】

#### 1 競技上の留意事項

- (1) 矢摺籐に意図的な目印と判断されるようなものがある場合、矢摺籐が破損している場合は、布テープを巻いて使用を許可することもあるので、あらかじめ注意すること。
- (2) 射場内で発声による応援をしてはならない。また、射場外の応援は射術上の指示をしてはならない。射場外での応援は「よし」の発声または拍手に留めて、品位を保つよう心掛けること。審判員が競技に差しつかえると判断した場合は、注意を与えることがある。
- (3) 矢番え完了後に筈こぼれした矢は無効とする。
- (4) 出場者は、四つ矢の他に替矢を2本持参すること。替矢の1本は筈割れ、他の1本は競射に使用する。
- (5) 第2控から第1控へ移動するまでに集合しない場合は、その立に限り、その選手は棄権とする。

#### 2 競技の服装について

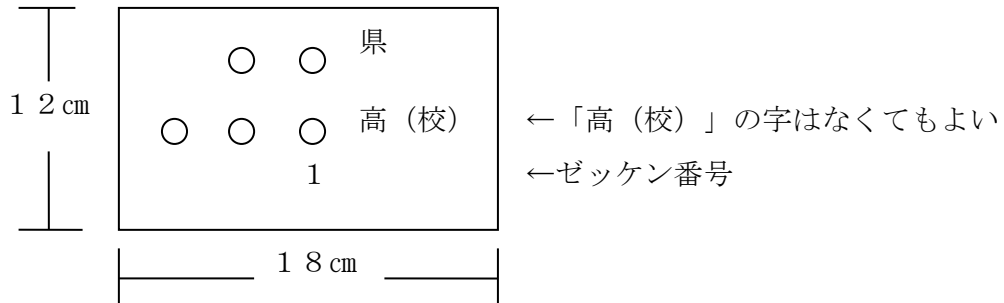
- (1) 弓道衣・袴・足袋は単色無地とする。ただし、各学校で統一すること。

- (2) 弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の単色無地とし、それ以外の色を使用する場合は各学校で統一すること。襟付き・ハイネックは、不可とする。
- (3) 鉢巻きを使用する場合は、長さは肩までとする。
- (4) リボン・ピアス等の装身具は禁止し、長髪の場合はゴム（黒、紺）で止めるよう指導する。
- (5) 服装違反は注意し、従わない場合は失格となる。

### 3 ゼッケンについて

選手は次の要領で団体・個人ともゼッケンを作製し、右腰前に必ずつけること。

- (1) 布地は白色。県名・学校名は黒字とし、選手番号は男子は黒字、女子は赤字で記入する。
- (2) 選手番号は団体戦出場選手・個人出場選手ともにゼッケン番号とする。  
(団体戦と個人戦に両方出場する選手は注意のこと。)
- (3) 規格及び記載例



- (4) ゼッケン番号は、団体は各チームで1～7を決める。(6・7は補員)  
個人の場合は各県で1～12(男女とも)を決める。
- (5) ゼッケンは安全ピンで2箇所をとめる。あるいは紐でとめてもよい。

### 4 医療について

- (1) 会場には救護所を設置し、軽易な治療及び応急処置を行い、重症者については医療機関を紹介する。
- (2) 宿舎で患者発生の場合は、宿舎提供者が最寄りの医療機関へ紹介する。
- (3) 監督・選手は健康保険証を必ず持参すること。

### 5 公式練習について 14日(金)9:00～15:30

- (1) 公式練習は立射とし、監督の引率のもと競技の服装で行う。
- (2) 公式練習は、各県の練習時間を割り当てる。公式練習の内容に関しては各県委員長の指示に従うこと。(各県75分)

山口県	9:00～10:15	広島県	10:25～11:40
島根県	11:50～13:05	岡山県	13:15～14:30
鳥取県	14:40～15:55		

### 6 その他

- (1) センターの開場時刻は8:00とする。
- (2) 選手控室は多目的ホールとその観覧席とする。
- (3) 多目的ホールフロアはシートを引けば飲食可とする。
- (4) 更衣は1階更衣室(男女)を使用してください。
- (5) 巻藁の持ち込みは禁止する。
- (6) 参加者の個人情報については、次の目的のために使用する。
  - ・大会プログラムへの記載
  - ・競技記録の掲載
  - ・会場内でのアナウンス
 また、肖像権については競技記録、メディアの取材等で写真撮影、中継映像を大型ビジョンに配信、をすることがありますので、ご了承ください。